

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和2(2020)年9月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 教育部教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <https://jha-e.jp/> ※4月1日より変更

受付時間 10:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日 毎月1日

ウィズコロナ時代を迎えて

島 弘志

一般社団法人 日本病院会 副会長

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長

昨年12月に中国の湖北省武漢市の海鮮市場で新しいウイルス感染症が広がり始めたとの報告が流れましたが、人から人への感染も無いとの事だったので、軽く受け止めていました。新年を迎えた頃は、今のように日本が、そして世界が新型コロナウイルスによって生活を変えなければならない事態に陥るとは、夢にも思っていませんでした。正確な情報が伝えられず、春節で大量の中国人が世界に移動した事で、一気にウイルスが世界中に拡散しました。又、日本政府の対応が後手に回った事で日本国内に多数の感染者が発生したのは周知の事実です。2月のダイヤモンド・プリンセス号に始まり、4月、5月の患者数の上昇は凄まじく、6月に入って沈静化してきましたが、再び7月中旬以降増加の一途を辿り、先が見えない状況になってきました。一方で7月初旬の豪雨により被災した地域では、コロナの影響でボランティア活動が制限され、復旧に大変な時間を要すると考えられています。このような状況下で病院経営がどのような影響を受けているのかを把握する為に、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会が4月、5月、6月を対象月にして合同調査を行いました。その結果コロナ患者を受け入れた病院、一時的に外来や病棟閉鎖に追い込まれた病院の経営は極めて悪化していることが分かりました。コロナ患者を受け入れていない病院でも患者の受療行動の変容で、外来や入院の患者数が減少し、経営が悪化しています。診療情報管理士の皆さん方もこの事は気付いておられると思いますが、今後は必ず安全性、有効性の高いワクチンや治療薬が出来て、あの騒動は何だったのだろうという時が必ず来ます。その際に、診療録に残された情報から多くの事を学び、気付く事が沢山出てくると思います。そしてウイルスとの戦いは、人類にとって避けられないと考えられていますので、次に来るとされる新しいウイルス感染に対抗する知恵が、今回の新型コロナウイルス感染症の治療や他の疾病への対応の中から生まれてくると思います。又、最近では症状の有無に関わらず、コロナ治癒後にかなりの頻度で心筋炎を併発する事が知られてきました。非日常的な病院医療の中での診療録の管理は大変であろうと思いますが、必ずや将来の医療の礎になると信じ、頑張ってくださいと思います。

